



豊中陸上フェスティバル



6月22日、豊頃中学校で『陸上フェスティバル』が開催されました。

『陸上フェスティバル』は、学年対抗の駅伝大会で、女子の部と男子の部に分かれて、行われました。開会式では、生徒会長の相澤秀輔くん(3年)が「全員でタスキをつなぎ、各学年勝利を目指しましょう」と挨拶し、大会が始まると、生徒たちは一生懸命走り、タスキをつないでいました。

友遊館でチャリティーバザー



6月19～20日にはるにれ友遊館ゆうゆう広場で『第5回陶の器たちのチャリティーバザー』が開催されました。

バザーは、豊頃ねんどクラブ(熊野ミサ子代表)が、東日本大震災の被災地支援を目的に、今年で5回目の開催となり、売り上げの一部を町社会福祉協議会へ寄付しています。

当日は、コーヒーカップや皿など、会員が制作した個性的な器が低価格で販売され、町内外からたくさんのお客さんが詰めかけました。

商工会青年部が清掃活動



6月15日、茂岩入口駐車場付近で豊頃町商工会青年部(石田慎太郎部長)による清掃活動が行われました。

これは、全国統一事業『絆』感謝運動として、青年部と地域との絆、青年部員同志の絆を確認し地域への感謝を目的とし、全国1,700ある商工会青年部が一斉に取り組むもので、豊頃町でも青年部員が参加し、茂岩入口駐車場付近のごみを拾い集めました。

自慢の牛 スタイルを競う



5月29日、平成27年度豊頃町総合家畜共進会(豊頃町農業協同組合主催)が農協多目的施設広場で開催され、乳牛、黒毛和種の両部門で計66頭が月齢別13部門に分かれて、その体格や将来性などを競いました。乳牛の部では、上士幌町の酪農家、小椋淳一さんが、黒毛和種の部では十勝農業協同組合連合会の由佐哲朗さんが審査にあたりました。

最高位は、次のとおりです。(敬省略)
【乳牛の部・未経産】アグロスプラッシュウインド(門 晃嗣)
【乳牛の部・経産】グレンバリー アイオーン チェアマン(門 晃嗣)
【黒毛和種の部】みほ(美馬大介)

50周年記念ソフトボール講習会



6月7日、豊頃町営ソフトボール場で町制施行50周年記念事業の一環として、日立ソフトウェア元監督の藤本あさ子氏を講師に迎えソフトボール講習会が行われました。

藤本さんは帯広市出身で日本ソフトボールリーグの日立ソフトウェアで選手として活躍、のちに同チーム監督を経て現在は北海道ソフトボール協会の理事を務められています。当日は豊中ソフトボール部と豊頃壘球倶楽部の選手が参加し、技術向上を図りました。



える夢キッズが酪農体験



5月30日、える夢キッズクラブ(主催:豊頃町教育委員会 協力:JA豊頃町青年部・十勝農業改良普及センター)による農業体験が鈴木牧場(豊頃佐々田町)で行われました。

当日は乳牛のエサよせや仔牛の哺乳、搾乳などの体験や調理実習などを通じて本町の基幹産業のひとつである酪農について理解を深めました。

体験した子どもたちは、大きな乳房から勢いよく出る乳に歓声を上げていました。

大進建設からベンチ寄贈



6月5日、大進建設(松原敏行社長)から町に対しベンチ2基が寄贈されました。

松原社長は、「バスを立って待っているお年寄りを見てベンチがあったらいいなと思い、寄贈しました。たくさんの人に使っていただきたいです」と話していました。保健センター入口に設置されており、たくさんの方に利用されています。

小中合同クリーン作戦



6月18日、町内の小中学校が連携し『小中合同クリーン作戦』が行われました。

この日は、豊頃小学校の生徒137名、大津小学校の生徒7名、豊頃中学校の生徒77名と教職員がごみ拾いを実施しました。

生徒たちは、豊頃中学校に集合し開会式を行った後、町内8箇所に分かれ、ゴミ拾いを通じ交流を深めました。

とよころアーティストインレジデンス



町制施行50周年記念事業の一環で、豊頃町に滞在して制作活動を行っていたドイツ出身のイナ・ニレンバーグさんと、十勝在住の加藤おかりさんによる『とよころアーティストインレジデンス』が6月14日まで行われ、とかるねでの作品展示や、ワークショップなどを通じて町民と交流を深めました。

消防団総合演習



6月21日、十勝川河川敷で豊頃消防団(石田哲郎団長)の総合演習が行われました。当日は小隊訓練、一斉放水などを行い、日頃の訓練の成果をいかに発揮しました。

7月14日に江別市で行われる北海道消防操法訓練大会に出場する第一分団の団員も、大会本番に向け技術の向上を図りました。



はるにれは見ていた

広報とよころ

はるにれは見ていた

広報とよころ

